

## 「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第19回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2014年9月6日(土)に、慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて、(公社)日本磁気学会第19回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を日立金属(株)、(株)高純度化学研究所、(株)日立ハイテクノロジーズのご後援、ご協力を頂き開催しました。今回は慶應義塾大学周辺の小学校向けに参加者を募集したところ、小学生40名とその父兄ほかあわせ80名近くの方が参加されました。

講演会当日は杉田総務理事のご挨拶にはじまり、講師としてお招きした東芝セミコンダクター&ストレージ社の清水 真理子氏により「身の回りの磁石を探してみよう」というタイトルで、磁石の基本的な性質と身近にある磁石について、判り易い説明やたくさんの実験を交えて、磁石の面白さ、不思議さを子供たちに約40分の講演をしていただきました。講演中は子供たちはノートにメモをとるなど非常に勉強になった講演会と思います。

講演終了後に、子供たちに6つの班に分かれてもらい、「動く液体? 磁気スライムを作ろう!」、「切符の裏の秘密の模様とは・・・」、「ハードディスクを分解しちゃった!?!」、「発電機とモーターの違いって?」、「磁石で音を鳴らしてみよう!」、「磁石のおもちゃであそぼう!」の計6コーナーを体験してもらいました。参加者数も多く、広い会場いっぱい子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐるっていたことや、積極的にコーナーの先生方に質問をする姿が大変印象的でした。パソコンなど身の回りの情報機器に使われるハードディスクの中身、モーターと発電機の構造の違い、磁石を使ったスライムの作成、磁石が描く奇妙な模様の観察など、磁石の魅力を存分に実感してもらえたのではないかと思います。今回参加いただいた方々にアンケートを記入していただいた結果、体験コーナーのスライム作りは子供達には圧倒的な人気であった。また今後もこのような講演会に参加したいと答えた児童はほぼ全員であり、講演を開催したスタッフにとって大変嬉しい結果となりました。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気付き磁石に詳しくなったということで、杉田総務理事より「じしゃく博士」認定証を一人ずつ子供たちに贈呈しました。最後に齋藤総務幹事より閉会にあたり御礼の挨拶を行いました。

今回の第19回公開講演会を通じて科学好きな小学生は多いと改めて実感しました。今回会場手配等でご協力いただいた慶應義塾大学の能崎先生には感謝いたします。また、日本磁気学会としてご協力いただきました学会事務局にも感謝いたします。このように盛況のうちに閉会することができたことは、総務委員オーガナイザとして大変うれしい気持ちです。また、公開講演会の準備でご協力いただいた皆様ほか、第19回講演会にご協力いただいた全ての皆様・参加していただいた皆様に紙面を借りて改めて

お礼申し上げます。

(総務幹事:早川 純)